

2 流域及び河川の自然環境

2-1 流域の自然環境

世界遺産の登録を受けている自然豊かな白神山地

白神山地は青森県南西部と秋田県北西部の県境にまたがる約 130,000ha に及ぶ広大な山地帯で、このうち原生的なブナ林で占められている区域 16,971ha が国際的評価を得て、1993 年 12 月に世界自然遺産として登録された。人為的な影響をほとんど受けていない原生的なブナ天然林が世界最大級の規模で分布し、また、マタギに代表される山に生き、山に暮らす人々が大切に守り伝えてきた地でもある。



白神山地

(出典：西目屋村企画観光課)



暗門の滝

(出典：西目屋村企画観光課)



図 2-1 世界遺産指定区域の範囲

(出典：西目屋村企画観光課)



白神山地のブナ林

(出典：西目屋村企画観光課)

2-2 河川およびその周辺の自然環境

(1) 全国的に絶滅の危機にある魚種が多く生息する川

環境省や青森県では絶滅の危機に瀕している淡水魚類や汽水性魚類をレッドデータブック・レッドリストとしてとりまとめ、保護のための基礎資料としている。

岩木川に生息が確認されている魚種のうち、スナヤツメ、ヤリタナゴ、イトヨ日本海型、イバラトミヨ、メダカ、シラウオの6種類がレッドリストに掲載されている魚種であるが、その他数多くの種の生息が確認されている。

【スナヤツメ】[ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科]



- ・青森県: 絶滅危惧 類(VU)
- ・環境省: 絶滅危惧 類

全長 20cm ほどで吸盤状の口を持ち、あごを持たない。幼生は成魚と異なり、眼がなく、口も吸盤状ではない。繁殖期を除いては多数が一度に捕獲されることはほとんどない。国内では北海道から九州にまで分布し、海には降りない。幼生は夜行性で、泥中の有機物を食べる。幼生は汚染のない河川の泥底・砂泥底にすむが、産卵場所は礫低であり、生存にはこれらの場所が揃っていることが必要である。

(出典:「青森県の希少な野生生物」青森県)

【イトヨ日本海型】[トゲウオ目トゲウオ科]



- ・青森県: 絶滅危惧 類(VU)
- ・環境省: 絶滅危惧 類

全長 8cm 程度。背びれの前に 3 本、腹びれに 1 対のとげがある。繁殖期の雄は背や眼が青く、腹部は鮮やかな赤色になる。本種には一生を淡水中で過ごすものと、海で生活し繁殖のために河川に遡上するものがある。繁殖の際には河川を遡上してきた雄が流れのゆるい場所でなわばりを持ち、砂底に植物片を集め、粘液でくっつけあわせて巣を作る。

(出典:「青森県の希少な野生生物」青森県)

【ヤリタナゴ】[コイ目コイ科]



- ・青森県: 最重要希少野生生物
- ・環境省: 該当なし

最大でも全長 10cm。国内では南九州と北海道を除く各地に分布するが、本県では津軽平野にのみ分布する。主に河川下流や溜め池などに住んでいる。雑食性で付着藻類や小型の水生动物を食べる。タナゴと同じく、オオクチバスによる捕食が本種の危機を招いている。

(出典:「青森県の希少な野生生物」青森県)

【メダカ】[メダカ目メダカ科]



- ・青森県: 絶滅危惧種 (VU)
- ・環境省: 絶滅危惧 類

主に産卵期は 4 月上旬～10 月上旬だが、水温の影響が大きい。雄が約 3.1cm、雌は約 3.4cm に成長する。

平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い場所に生息する。卵は水草などに産み付ける。

開発が進むにつれ棲み場が次第になくなり、また水質汚染や移入されたカダヤシとの競争などにより分布域は狭くなっている。

(出典:「青森県の希少な野生生物」青森県)

(2) 河畔林が連続する川

岩木川の河道沿いにはシロヤナギ、オニグルミなどの高木林やタチヤナギなどの低木林が連続している。こうした河畔林には多くの鳥類やほ乳類が生息するとともに、昆虫類も多く比較的豊かな生物相を有している。

【34.3k 鶴寿橋付近に広がる河畔林】



(出典:青森河川国道事務所資料)

【23.0k 付近に広がる河畔林】



(出典:青森河川国道事務所資料)

(3) 岩木川流域を北限とする種

岩木川流域では、生物の北限種が比較的多く、淡水魚の天然分布種であるアブラハヤや植物のサクラタデ、ドクダミ、ハマゴウ、タコノアシ、ミソハギなどがあげられる。

【タコノアシ】[ユキノシタ科]



・青森県:準絶滅危惧種(NT)

・環境省:絶滅危惧種 類

湿地に生える多年草。茎は高さ30~80cmで淡紅色を帯びる。北海道を除く全国に分布し青森県にも点在する。河原や休耕田にいち早く出現したかと思うと数年で姿を消してしまう先駆的植物である。最近、休耕田が多くなり出現する機会が恵まれているはずであるが、帰化植物との競合で次第に減少している。

(出典:「青森県の希少な野生生物」青森県)

【ドクダミ】[ドクダミ科]



平地の日陰にごく普通に生える多年草。特有の悪臭がある。民間薬としてよく知られ、10種の薬効があるから十薬との説もある。茎は高さ15~30センチ。葉は心形で柔らかい。茎の先端に淡黄色で、雄しべと雌しべだけの花を短い穂状につける。

(出典:日本の野草)

2-2-1 河川の環境特性

岩木川を源流・上・中・下流に分けて、各区分の特性について示す。
区分については次のとおりである。

源流部

上流部: ~ 平川合流点付近

中流部: 五所川原付近 ~ 平川合流点付近

下流部: 河口部 ~ 五所川原付近

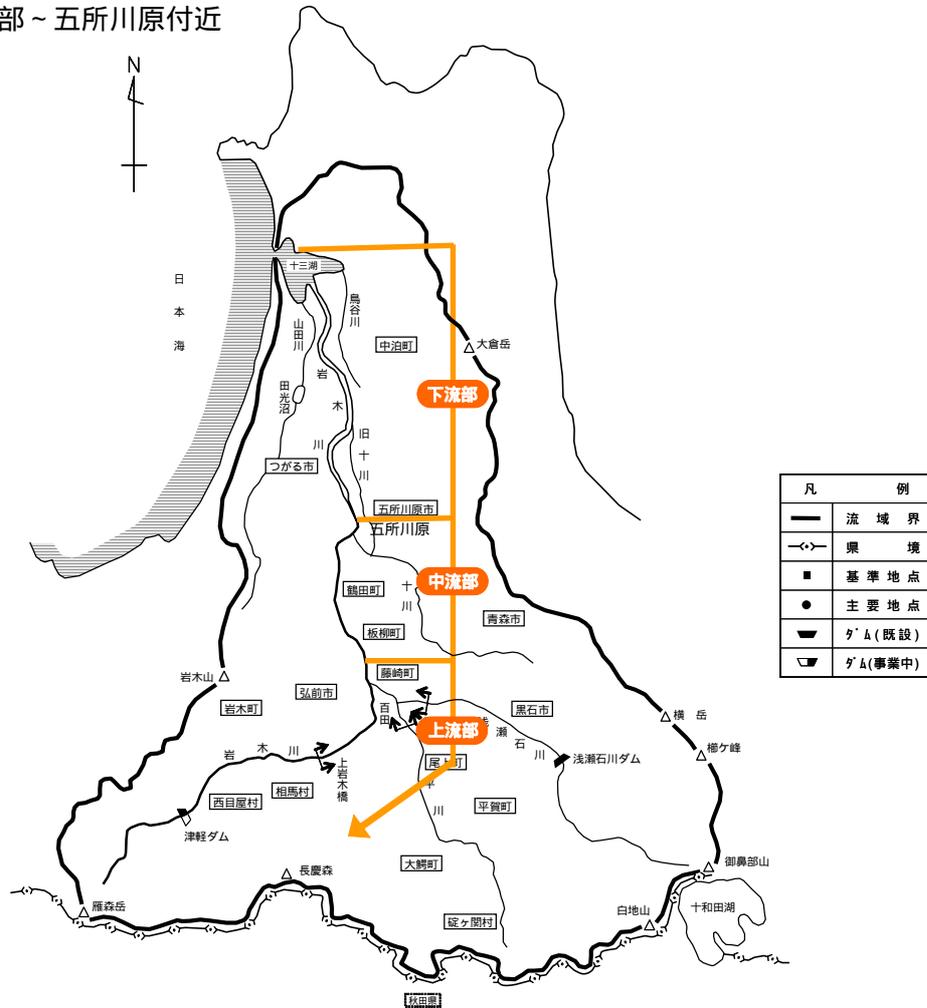


図 2-2 岩木川の河川区分図

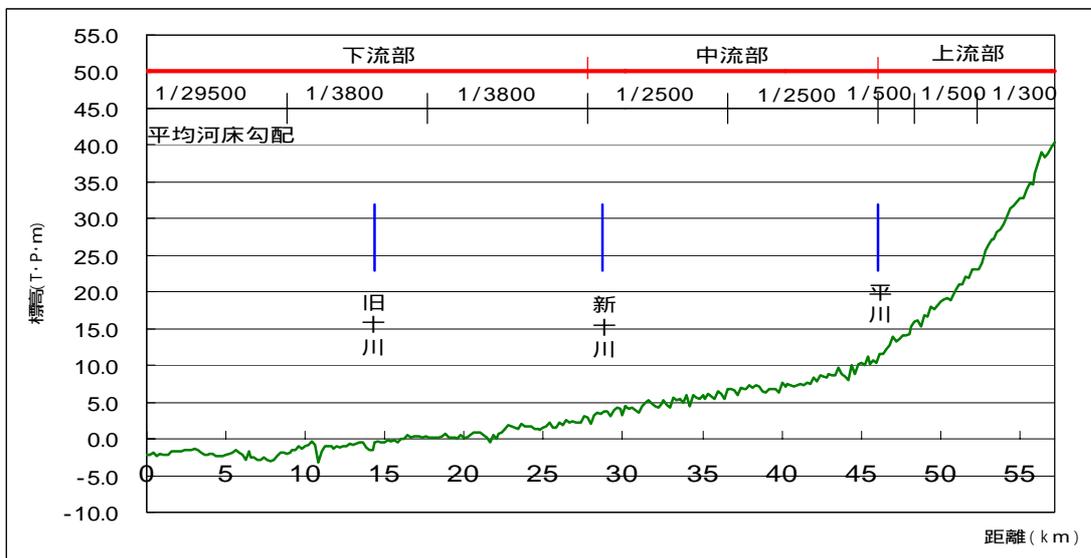


図 2-3 岩木川の河道縦断図

(1) 源流部の環境

世界遺産 白神山地が源流部

白神山地の雁森岳を源流とする岩木川は山間溪谷部を流下し、奥羽山脈の雄大な連峰を背にブナやナラ類等の広葉樹林帯を流れ、溪流にはイワナやヤマメ等が生息している。

【源流部の岩木川】



(出典:西目屋村企画観光課)

【イワナ】[サケ科サケ亜科イワナ属]



全長 30～60cm。側線から腹側にかけて、瞳と同大かそれよりもやや大きい橙色や黄色、桃色の斑点が散在する。また、側線から背部にかけて上記の斑点よりも小さな白色斑点が散在する。

山梨県富士川以北の本州各地に分布するとされている。河川源流域を中心に生息し、山間部の湖やダム湖にもあらわれる。しかし、分布域北部では川の中・下流域でも姿がみられ、水温の温度差が反映すると考えられる。

(出典:日本の淡水魚)

(2) 上流部の環境

アユの生息する上流部

上流部の弘前市付近では、礫河原や瀬・淵が発達しており、アユなどの魚類の生息地となっている。特に砂礫河床の早瀬はアユ・ウグイの産卵場となっており、春から初夏にかけてはウグイの伝統的漁法である「シゲタ漁」が、秋にはアユの「ヤナ漁」が行われている。

鳥類では、イカルチドリやコチドリが河原を繁殖の場、生息の場としている。



【岩木橋周辺に広がる河原】



(出典:青森河川国道事務所資料)

シゲタ漁



河床に石を並べてよどみ(人工的な産卵場)をつくり、そこに遡上した魚を投網によって捕獲する漁法

(出典:岩木川漁業協同組合)

図 2-4 岩木川で唯一のアユ・ウグイの産卵区域

(出典:水辺の国勢調査 平成 14 年)

【イカルチドリ】[チドリ目チドリ科]



- ・青森県：絶滅危惧種 類 VU
- ・環境省：該当なし

全長 21cm 前後。頭には白と黒のまだら模様。
夏鳥として少数が渡来し、一部は周年生息している。河原の砂礫地や草地、湖や沼の周りの砂地などに生息する。

(出典：「青森県の希少な野生生物」青森県)

【コチドリ】[チドリ目チドリ科]



全長 16cm 前後。雄雌ほぼ同色。成鳥夏羽は額が白く、前頭が黒い。頭頂は暗褐色で、前頭の黒色との間に白線がはっきりある。雄雌とも黄色のアイリングがある。河川、埋立地、造成地の草の少ない砂泥地や砂礫地などで生息する。九州以北では夏鳥で、西日本以南の暖地では少数が越冬する。

(出典：日本の野鳥)

(3) 中流部の環境

高水敷に広がるリンゴ園

高水敷は青森県の主力農産品であるリンゴ園地として利用されており、29.0k 付近から上流の高水敷に多く見られる。

【46.0k 付近の岩木川】



(出典：青森河川国道事務所資料)

中流部高水敷のリンゴ園



(出典：青森河川国道事務所資料)

河畔林は動植物の生息地

河道沿いに発達するヤナギ等の高木林の河畔林は動植物の生息地となっている。河川周辺の自然環境と相まって河畔林はオオタカ、アカハラ、アオジ、ホオアカといった鳥類の繁殖地ともなっている。

【保安橋付近の岩木川】



(出典：青森河川国道事務所資料)

河畔林



(出典：青森河川国道事務所資料)

【オオタカ】[タカ目タカ科]



- ・青森県：絶滅危惧種 類 VU
- ・環境省：絶滅危惧 類

全長 50～57cm、翼開長 105～130cm。
留鳥で人里の林で繁殖し、低山帯から市街地まで広い範囲に少数が生息している。カルガモなどを餌にし、冬に町中や公園でカラスやドバトを捕食するのもある。

(出典：「青森県の希少な野生生物」青森県)

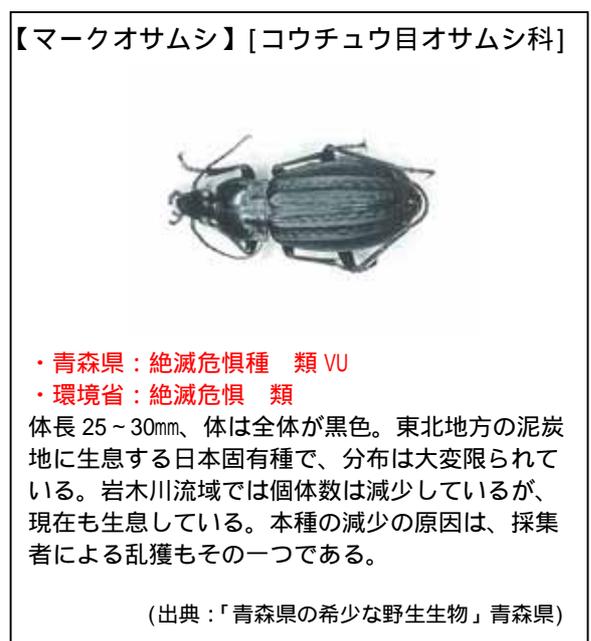
(4) 下流部の環境

広大なヨシ原を持つ下流部

下流部では、10 km付近から下流はヨシ原が広がっている。このヨシ原にはオオセッカやオオヨシキリ、コヨシキリ等の鳥類やマークオサムシ等の昆虫類が生息し、特にオオセッカは、全国的にも貴重な存在で、国内で約2,400羽が生息している内の約300羽がこの岩木川で繁殖している。利根川、小川原湖仏沼に次ぐ国内第3位の生息数で、国内生息数の約12%を占めている。

ヨシ原内にあるワンドや池にはメダカ、ヤリタナゴ、イバラトミヨなど貴重な生物が確認されている。

また、この地域ではヨシの刈り入れが行われており、品質のよいヨシ生産のため毎年春に行われる火入れはオオセッカの良好な繁殖環境を維持している。



最下流部に位置する十三湖

岩木川の最下流部に位置する十三湖は、多様な自然環境を有する周辺一帯とあわせて津軽国定公園(第二種特別地域)に指定されている。湖は岩木川からの流入を受け一方、日本海からの交番流を受ける汽水湖であり、全国的にも有名なヤマトシジミをはじめ、ワカサギやマハゼ、シラウオといった汽水・海産魚類などの他、淡水性の魚類も数多く生息している。また、湖岸にはヨシ等の抽水植物帯が発達しているなど、動植物の多様な生態環境を有している。

十三湖は「黒いダイヤモンド」と称されるヤマトシジミの漁が盛んに行われており、その漁獲量は、島根県しんじこ穴道湖、青森県小川原湖に次ぐ国内第3位で地元の主要産業となっている。

冬季はオオワシ、オジロワシなどが渡来し、採餌場として確認されており、オオハクチョウやガン・カモ類の多数が越冬場所として渡来する。

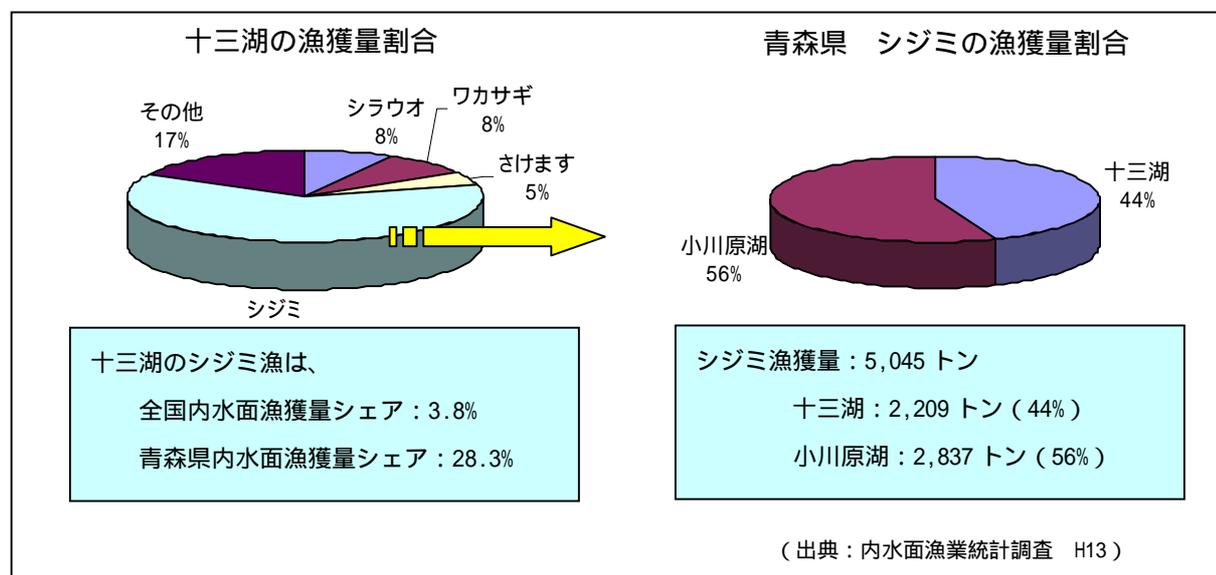


図 2-5 十三湖のシジミ漁獲量

(5) 岩木川における特定種

河川水辺の国勢調査等の調査結果をもとに、岩木川における特定種をレッドデータブック・レッドリスト（環境省）記載種、天然記念物指定種等の学術上または希少性の観点から抽出した。

表 2-1 岩木川における特定種の選定基準一覧表

番号	法令・文献の名称	記号	カテゴリー区分
(1)	文化財保護法	特天	国指定特別天然記念物
		国天	国指定天然記念物
(2)	文化財保護条例	県天	青森県指定天然記念物
		市天	市区町村指定天然記念物
(3)	絶滅の恐れのある野生動物の種の保存に関する法律	保存	国内希少野生動植物
(4)	「汽水・淡水魚類レッドリスト」(環境省、1999)	EX	絶滅種
		EW	野生絶滅種
		CR	絶滅危惧IA類種
		EN	絶滅危惧IB類種
		VU	絶滅危惧 類種
		NT	準絶滅危惧種
		DD	情報不足種
		LP	絶滅の恐れのある地域個体群種
(5)	「青森県の希少な野生生物-青森県レッドデータブック」 (青森県環境生活部自然保護課、2000)	A	最重要希少野生生物
		B	重要希少野生生物
		C	希少野生生物
		D	要調査野生生物
(6)	「第1回 自然環境保全調査(緑の国勢調査)」	自然	「すぐれた自然」調査対象種
(7)	「第2回 自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)」	重要	日本の重要な指定種
		指標	日本の指標な指定種(底生、陸上昆虫)
		稀少	日本の稀少な指定種(鳥類)
(8)	自然公園法	公園	(津軽国定公園)指定植物

表 2-2 岩木川で確認された特定種一覧表

分類	番号	種名・群落名	選定根拠								生息環境等	確認地点			
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		下流	中流	上流	
植物	1	タコノアシ				VU	C					湿地、浅い水辺			
	2	ハイハマボス				VU	C					湿った草地			
	3	チョウジソウ				VU	C					湿った草地			
	4	ミズアオイ				VU	C					湿地、浅い水辺			
	5	ミクリ				NT	C					湿地、浅い水辺、湿った草地			
	6	オオクグ				VU	B					汽水域の湿地			
	7	エゾノミズタデ						自然				浅い水中			
	8	ホロマンノコギリソウ				VU		自然				海岸付近の草地			
	9	ハマオトコヨモギ						自然				原野・草原、岩場・礫地、海岸			
	10	シロヨモギ						自然				原野・草原、岩場・礫地、海岸			
	11	ハマナス								公園		海浜の草地			
	12	ヤナギトラノオ								公園		湿った草地			
	13	エゾリンドウ								公園		湿った草地			
	14	ミヤマウズラ								公園		湿った草地			
	15	ササバギラン								公園		湿った草地			
	16	ハマベンケイソウ								公園		海浜の草地			
	17	エゾナミキソウ				EN				公園		湿った草地			
	18	サワギキョウ								公園		湿地、湿った草地			
	19	タチギボウシ								公園		湿った草地			
	20	ノハナショウブ								公園		湿地、湿った草地			
	21	カキツバタ				VU				公園		湿地、湿った草地			
	22	ミチノクサイシン				VU				公園		樹林、河畔林			
	23	ミズバショウ								公園		湿地、ヨシ原			
	24	ヒメザゼンソウ								公園		湿地、ヨシ原			
鳥類	1	オジロワシ	国天		保存	EN	B	自然	稀少			海岸、河川、池沼			
	2	オオワシ	国天		保存	VU	B	自然				海岸、河川、池沼			
	3	オオセッカ			保存	EN	A	自然	稀少			河原や湖沼等のアシ原			
	4	ハヤブサ			保存	CR VU DD	B		稀少			海岸、耕作地、営巣は岩棚			
	5	ミサゴ				NT			稀少			海岸、河川、池沼、営巣は岩棚など			
	6	チュウヒ				VU	B		稀少			広いヨシ原、草地			
	7	オオタカ			保存	VU	B		稀少			耕作地、樹林、とくに河畔林			
	8	コジュリン				VU	B	自然	稀少			ヨシ原、草地			
	9	カワセミ						自然				河川、池沼、小川、営巣は土の土手			
	10	カワウ						自然				河川、池沼			
	11	藤崎のハクチョウ		県天								河川、池沼			
	12	十三湖のハクチョウ		県天								河川、池沼			
	13	ヨシガモ							自然			河川、池沼			
	14	フクロウ								稀少		樹林、河畔林			
	15	ハイタカ				NT						耕作地、樹林、とくに河畔林			
	16	ヒクシイ		国天		VU						水田、耕作地、溜池			
	17	チゴハヤブサ								稀少		耕作地、疎林、草地			
	18	コアジサシ				VU	A					海岸、河川、営巣は海浜、河原			
	19	オオジシギ				NT		自然				水田・湿地・蓮田			
	20	チュウサギ				NT						河川、水田			
	21	チョウゲンボウ								稀少		耕作地、疎林、草地			
	22	ホウロクシギ				VU						海岸、干潟			
哺乳両乳虫生類	1	イイズナ				NT						耕作地、樹林			
魚介類	1	イバラトミヨ							重要			流れの緩い河川、池沼、用水路			
	2	シロウオ				NT						内湾、河川河口域			
	3	メダカ				VU						流れの緩い河川、池沼、用水路、水田			
	4	スナヤツメ				VU						河川(淡水域)、小川			
	5	イトヨ日本海型						B				流れの緩い河川、池沼、用水路			
	6	ヤリタナゴ						A				流れの緩い河川、小川、池沼			
底生生物	1	モノアラガイ				NT						水田、用水路、河川緩流域			
	2	カラスガイ				NT						河川緩流域、池沼			
	3	マツサカガイ				NT						河川緩流域、池沼			
	4	ゲンゴロウ						D				河川緩流域、池沼			
	5	マダラコガシラミズムシ				NT						河川緩流域、池沼			
昆虫類上	1	マークオサムシ				VU	B			指標		湿地、ヨシ原			
	2	アカガネオサムシ								指標		湿地、ヨシ原			
	3	ゴマシジミ				VU	D					草原			

2-3 特徴的な河川景観や文化財等

2-3-1 文化

(1) 名勝および天然記念物

岩木川流域内には国指定の天然記念物は存在しないが、国指定の名勝と県指定の天然記念物としては次の 12 物件がある。

表 2-3 岩木川流域の名勝および天然記念物

市町村	指定区分	名称	備考
弘前市	国名勝	瑞楽園	(S54)
尾上町	国名勝	盛美園	(S28)
	国名勝	清藤氏書院庭園	(S54)
弘前市	県天然記念物	大杉 2本	(S31)
	県天然記念物	燈明杉 1本	(H5)
	県天然記念物	向外瀬のモクゲンジ 1本 (センダイバノボダイジュ)	(H9)
つがる市(旧柏村)	県天然記念物	りんごの樹 3本	(S35)
藤崎町	県天然記念物	藤崎のハクチョウ	(S51)
板柳町	県天然記念物	イチイ 1本	(S46)
鶴田町	県天然記念物	妙堂崎のモミの木 1本 (トドロツポ)	(S59)
黒石市	県天然記念物	妙経寺のカヤの木 1本	(S63)
五所川原市(旧市浦村)	県天然記念物	十三湖のハクチョウ	(S35)

(出典：「平成10年度 青森県の文化行政」 青森県教育庁文化課)

妙堂崎のモミ(トドロツポ)の木 1本



鶴田町妙堂崎に所在し、地域の人からは「トドロツポ」と呼ばれている。推定樹齢 350 年で、元和年間(1615～1624)から寛永年間(1624～1643)の弘前藩の新田開発の頃に植えられたものと推定される。秋田県を北限とするモミの木が、当地で旺盛な成育を見せていることは植物分布上貴重なことであり、県天然記念物に指定されている。

(出典：「あおもりの文化財」青森県 HP)

藤崎のハクチョウ



南津軽郡藤崎町あたりを流れる平川は、近くの水域に飛来するハクチョウの生活基地となっている。現在の地点に飛来するようになったのは昭和 40 年(1965)ころからで、またそのころから 400 羽程度の飛来数となり、冬季滞在するようになった。昭和 30～40 年代には飛来数が増加したが、水面の面積と食餌の量との関係で、300 羽前後が好ましい生息羽数とみなされている。

(出典：「あおもりの文化財」青森県 HP)

(2) 文化財

岩木川流域の主な文化財は次のとおりである。

表 2-4 岩木川流域の国指定文化財

市町村名	指定区分	名 称	備 考
弘 前 市	重要文化財	最勝院五重塔 弘前八幡宮本殿、唐門 長勝寺三門 弘前城 天守、二の丸辰巳櫓、二の丸未申櫓、 二の丸丑寅櫓、二の丸南門、二の丸東門、 三の丸追手門、北の郭北門 誓願寺山門 弘前城三の丸東門 津軽為信霊屋 東照宮本殿 熊野奥照神社本殿 旧第五十九銀行本店本館 石場家住宅 弘前学院外人宣教師館 津軽家霊屋 環月臺、碧巖臺、明鏡臺、白雲臺、凌雲臺 長勝寺御影堂 長勝寺本堂、庫裏 革秀寺本堂 旧弘前偕行社	建造物
	記念物	津軽氏城跡（種里城跡・堀越城跡・弘前城跡） 瑞楽園	史跡 名勝
黒 石 市	重要文化財	高橋家住宅	建造物
五所川原市	重要文化財	旧平山家住宅主屋、表門	建造物
(旧市浦村)	記念物	十三湊遺跡(H17 指定予定)	史跡
つがる市 (旧木造町)	記念物	亀ヶ岡石器時代遺跡 田小屋野貝塚	史跡
青 森 市 (旧浪岡町)	記念物	浪岡城跡 高屋敷館遺跡	史跡
尾 上 町	記念物	盛美園 清藤氏書院庭園	名勝
岩 木 町	重要文化財	岩木山神社楼門、岩木山神社拝殿 岩木山神社本殿、奥門、瑞垣、中門 高照神社本殿、中門、随神門、拝殿及び弊殿	建造物
田 舎 館 村	記念物	垂柳遺跡	史跡

(出典：青森県教育庁文化財保護課 HP)

表 2-5 岩木川流域の県指定文化財

市町村名	指定区分	名 称	備 考
弘 前 市	県 重 宝	久祥院殿位牌堂 三尊仏及びその厨子堂 旧岩田家住宅 旧東奥義塾外人教師館 旧弘前市立図書館 熊野宮本殿 日本聖公会弘前昇天教会 教会堂 巖鬼山神社本殿 旧青森県尋常中学校本館 日本基督教団弘前教会教会堂 袋宮寺本堂 円明寺本堂 報恩寺本堂 本行寺護国堂	建造物
	記 念 物	成田家庭園 貞昌寺庭園	県名勝
黒 石 市	県 重 宝	法眼寺鐘楼堂 法眼寺本堂	建造物
五所川原市	県 重 宝	飯詰八幡宮本殿	建造物
(旧金木町)	県 重 宝	旧津島家住宅	建造物
青 森 市 (旧浪岡町)	県 重 宝	旧坪田家住宅	建造物
尾 上 町	県 重 宝	猿賀神社本殿	建造物
	記 念 物	八幡崎遺跡	県史跡
岩 木 町	記 念 物	津軽信政の墓	県史跡
中 泊 町 (旧中里町)	記 念 物	中里城遺跡	県史跡

(出典：青森県教育庁文化財保護課 HP)

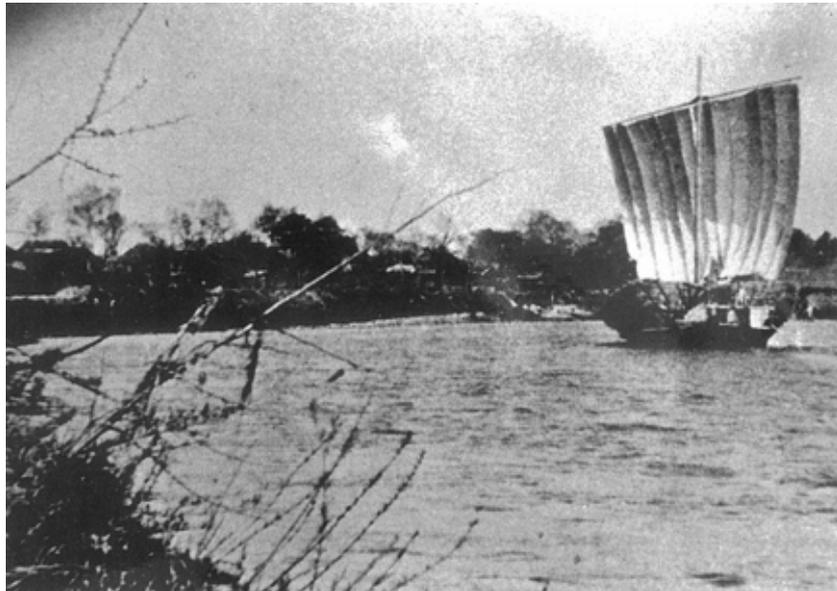
2-3-2 歴史

(1) 岩木川の舟運

岩木川河口の五所川原市(旧市浦村)十三は鎌倉時代から主要な港であった。鎌倉時代の貞応2年(1223)、幕府が海運業を規定するため取り決めた廻船式目の中に、日本国内三津七湊の一つとして十三湊の名前が載っていたが、津軽藩の藩政が確立されるに従い、鱒ヶ沢・青森にその地位を奪われていった。それは、岩木川から流出する土砂で十三湊そのものが年々浅くなるなど、地理的变化も大きな要因であった。

岩木川の舟運が盛んであった頃、川筋の港として栄えたのは十三湊をはじめとして現在の弘前市浜の町、三世寺・藤崎町・板柳町・五所川原市湊、藻川(大泊)・蒔田(旧金木町)などであった。

寛文3年(1663)には、藩の米蔵が板柳に造られ、川船5隻も新造され、翌4年には代官所も設けられた。元禄3年(1690)の記録には、「板柳に川船63隻」とあり、先頭衆の住む水主派立(新開地)が設けられ、繁栄を極めた。そのころが岩木川舟運の絶頂期であった。



岩木川の舟運（明治末期 板柳町）

（出典：青森河川国道事務所資料）

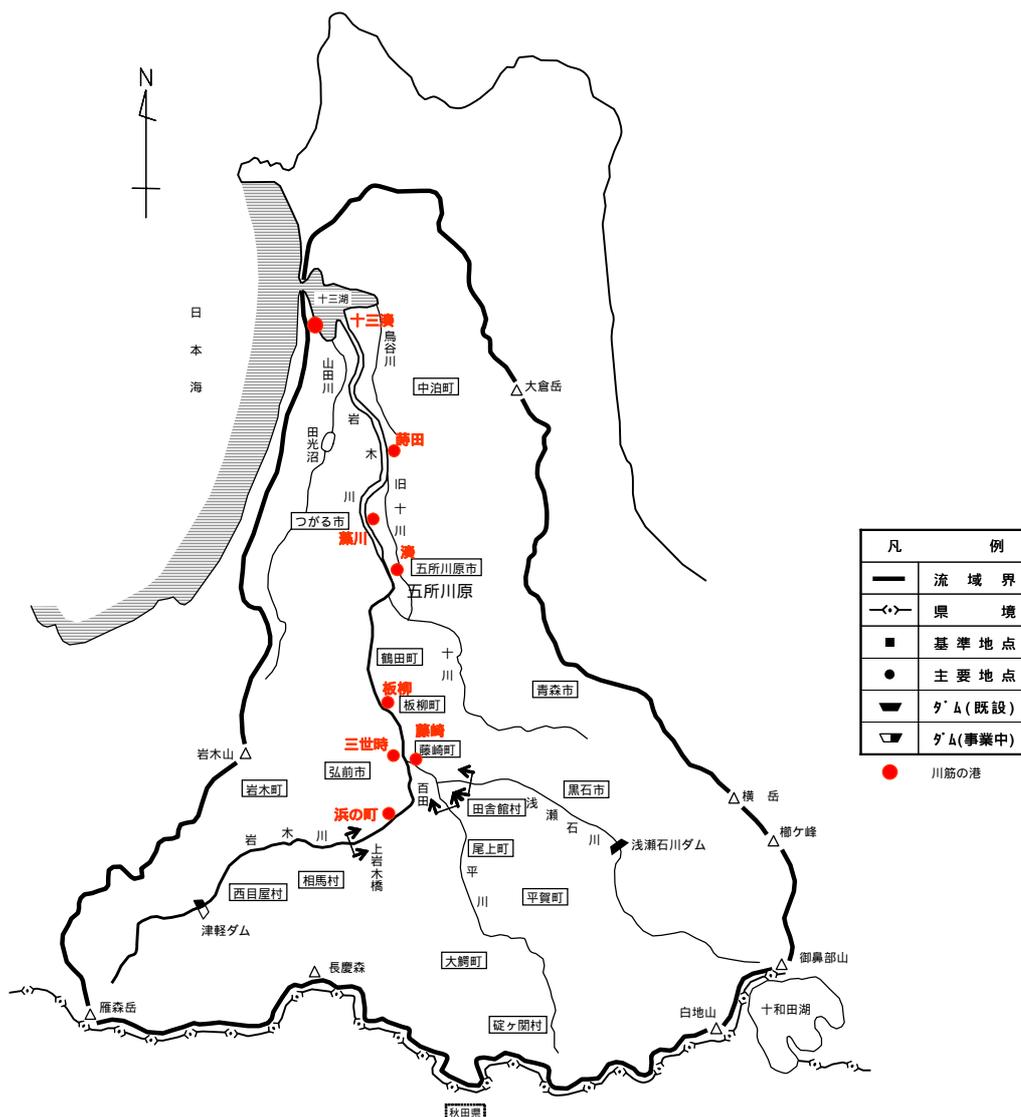


図 2-6 岩木川筋の港

2-3-3 イベント・観光

(1) イベント

岩木川流域の市町村では数多くの行事が催されている。

「五所川原立佞武多」は市民有志により、平成10年に約80年ぶりに復活した行事で、現在では5日間の祭り期間中に約140万人の見物客が訪れる。特に平成16年の立佞武多のテーマは「杙」であり、河川の氾濫を防ぐために杙(水制)を打ち込む大男を描くなど、治水をめぐる地域の歴史を題材としている。

表 2-6 岩木川流域市町村の主な年中行事

市町村名	年中行事 [() 内の数字は開催月]
弘前市	弘前城雪燈籠まつり(2) / 弘前さくらまつり(4) / よさこい津軽(6) / 弘前ねぶたまつり(8) / 弘前・白神アップルマラソン(9) / 弘前城菊と紅葉まつり(10)
五所川原市	五所川原全国凧揚げ大会(3) / 五所川原立佞武多(8) / 飯詰裸参り(12)
(旧金木町)	津軽三味線全日本金木大会(5) / 金木夏まつり(7) / 仁太坊まつり(10)
(旧市浦町)	相内の虫送り(6) / 十三の砂山まつり(8)
黒石市	黒石さくらまつり(4) / 黒石ねぶた(7) / 黒石よされ(8) / 黒石花火大会(8) / 黒石こみせまつり(9) / 津軽黒石日本一の雪だるま(2)
つがる市 (旧木造町)	木造ねぶたまつり(7) / 馬市まつり(8)
(旧森田村)	石神火まつり(7)
(旧柏村)	凧あげ大会(1) / 虫送り(5)
(旧稲垣村)	いながき秋まつり(10)
(旧車力村)	チェスボローカップ水泳駅伝(8)
青森市 (旧浪岡町)	全国津軽山唄選手権大会(8) / 婆娑羅ふれあいフェスタ冬の陣(2)
岩木町	岩木山スキーマラソン大会(3) / チャレンジヒルクライム岩木山(6)
大鰐町	大鰐町温泉つつじまつり(5) / アップルフェア(11)
平賀町	平賀はしご酒まつり(2) / 白岩まつり(5) / ひらか夏まつり(8)
尾上町	猿賀神社七日堂大祭(1) / 猿賀神社例大祭(8) / 津軽よさ恋フェスティバル(8)
藤崎町	みちのくあやめまつり(6) / 津軽花火大会(8)ふじフェスタ(11)
(旧常盤町)	常盤八幡宮裸参り(1) / ときわいきいきまつり(11)
板柳町	りんごの里いたやなぎ雪まつり / (2)りんご灯まつり(8)
鶴田町	犬ぞり大会(2) / つるたまつり(8)
中泊町 (旧中里町)	なかさとまつり(8)
西目屋村	白神カップカーヌー大会(6)
相馬村	星の里マラソン(4) / 星まつり(7)
碓ヶ関村	関所祭り(8)
田舎館村	田植え体験ツアー(5) / ねぶたまつり(8)

(出典：各市町村HP)



五所川原立佞武多

(出典：五所川原市観光課)

(2) 観 光

観光資源としては、世界遺産白神山地のほかに十三湖が有名である。この地域は津軽国定公園にも指定されており、景観にも優れている。

また、温泉は「黒石温泉郷」「百沢温泉郷」等をはじめとして、各地に点在している。

表 2-7 岩木川流域市町村の観光名所および観光施設

市町村名	観 光 施 設
弘 前 市	追手門広場 / 弘前市立観光館 / 山車展示館 / 弘前市立郷土文学館 / 津軽藩ねぶた村 / 弘前公園
五所川原市	立佞武多の館 / 狼野長根公園 / ストープ列車
(旧 金 木 町)	芦野公園 / 金木町太宰治記念館「斜陽館」
(旧 市 浦 村)	中の島ブリッジパーク / 十三湊遺跡
黒 石 市	横町かくじ広場 / こみせ通り / 津軽こけし館 / 中野もみじ山
つがる市 (旧 木 造 町)	平滝沼公園 / 縄文館 / ベンセ湿原
(旧 森 田 村)	つがる地球村
(旧 柏 村)	日本最古のりんごの木 / 柏正八幡宮
(旧 稲 垣 村)	岩木川河川公園 / 稲穂いこいの里
(旧 車 力 村)	高山稲荷神社
青 森 市 (旧 浪 岡 村)	浪岡町中世の館
岩 木 町	岩木山神社 / 岩木山スカイラインスキー場
大 鱈 町	大円寺 / 茶臼山公園 / 大鱈スキー場
平 賀 町	平賀町ねぶた展示館 / 志賀坊森林公園
尾 上 町	猿賀神社 / 盛美園
藤 崎 町	唐糸御前史跡公園
(旧 常 盤 村)	常盤ふるさと資料館あすか
板 柳 町	板柳町郷土資料館
鶴 田 町	桜つつみ公園 / 鶴の舞橋
中 泊 町 (旧 中 里 町)	十三湖岸公園
西 目 屋 村	白神山地世界遺産センター西目屋館 / 世界遺産白神山地
相 馬 村	星と森のロマントピア
碓ヶ関村	碓ヶ関御関所 / たけのこの里
田 舎 館 村	弥生の里

(出典：各市町村HP)

表 2-8 岩木川流域市町村の温泉

市町村名	温 泉 名
黒 石 市	黒石温泉郷
岩 木 町	百沢温泉 / 嶽温泉 / 羽黒温泉
大 鱈 町	大鱈温泉郷
平 賀 町	平賀温泉郷
鶴 田 町	鶴田温泉
板 柳 町	板柳温泉
碓ヶ関村	碓ヶ関温泉郷

(出典：各市町村HP)

2-4 自然公園等の指定状況

岩木川流域の市町村における自然保護関連の指定項目と指定状況は以下のとおりである。数多くの自然、動植物が保護、保全の対象となっている。

表 2-9 岩木川流域の世界自然遺産登録

登録地	関係市町村	面積 (ha)	指定年月日
世界自然遺産白神山地	鱒ヶ沢町、深浦町、岩崎村 西目屋村	全体 16,971 青森県 12,627	平成 5 年 12 月 9 日

(出典：青森県環境生活部自然保護課)

表 2-10 岩木川流域の自然公園指定状況

公園名	関係市町村	面積 (ha)	指定年月日
十和田八幡平国立公園	青森市、黒石市、平賀町、 十和田湖町	全体 85,409 青森県 40,600	昭和 11 年 2 月 1 日 昭和 31 年 7 月 10 日 (八幡平追加)
津軽国定公園	五所川原市(旧市浦村) つがる市(旧木造町、 旧車力村)、今別町、 平館村 三厩村 鱒ヶ沢町、 深浦町、岩崎村、岩木町、 中泊町(旧中里町、旧小泊 村)	25,966	昭和 50 年 3 月 31 日
黒石温泉郷県立自然公園	黒石市、平賀町	5,100	昭和 33 年 10 月 14 日
赤石溪流・暗門の滝県立自然公園	鱒ヶ沢町、西目屋村	5,239	昭和 56 年 7 月 7 日
芦野池沼群県立自然公園	五所川原市(旧金木町)	612	昭和 50 年 6 月 17 日
岩木高原県立自然公園	中泊町(旧中里町)	2,587	
大鱧・碓ヶ関温泉郷県立自然公園	岩木町 大鱧町、碓ヶ関村	6,730	昭和 28 年 6 月 10 日

(出典：青森県環境生活部自然保護課)

表 2-11 岩木川流域の県立自然環境保全地域指定状況

地域名	所在地	指定年月日	備考
白神山地	青森県西津軽郡鱒ヶ沢町、深浦町、 中津軽郡西目屋村、秋田県山本郡藤里町	H4.7.10	世界最大級のブナ天然林、ク マゲラ等希少動植物相
四ツ滝山	東津軽郡三厩村、五所川原市(旧市浦 村) 北津軽郡中泊町(旧小泊村)	S56.11.28	ブナの天然林
座頭石	弘前市大字一野渡字山下	S53.3.4	アカマツと一体となった岩 壁
屏風岩	中津軽郡相馬村大字沢田字園村	S53.4.8	数カ所にキレットをもつ岩 壁地形。アオモリマンテラ等 の自生地
尾太岳	中津軽郡西目屋村	S56.11.28	ブナ林、コケモモ-コメツガ 群落の天然林

(出典：青森県環境生活部自然保護課)

表 2-12 岩木川流域の鳥獣保護区特別保護地区状況

地域名	所在地	面積 (ha)	存続期間
白神山地	青森県、秋田県	17,157	H16.3.1~H25.10.31

(出典：青森県環境生活部自然保護課)

表 2-13 岩木川流域の鳥獣保護区状況

地域名	所在地	面積 (ha)	存続期間
十三湖鳥獣保護区	五所川原市(旧市浦村)	2,497	H13.10.1~H33.10.31
岩木川河口鳥獣保護区	つがる市(旧車力村)、 中泊町(旧中里町)	230	S62.11.1~H18.10.31
平川・浅瀬石川鳥獣保護区	弘前市、黒石市、藤崎町、平賀町、 大鰐町、尾上町、田舎館村	865	H16.11.1~H36.10.31
岩木川鳥獣保護区	弘前市、岩木町、相馬村	275	H14.11.1~H33.10.31
美山湖鳥獣保護区	西目屋村	200	H13.11.1~H25.10.31

(出典：青森県環境生活部自然保護課)

表 2-14 岩木川流域の特定植物群落一覧表

所在	名称
弘前市、つがる市(旧森田村)、鶴田町	津軽平野湖沼群(砂沢溜池、狄ヶ館溜池、廻堰溜池)
黒石市	黒森山の風穴植物群落
つがる市(旧車力村)	車力のクロマツ林
青森市(旧浪岡町)	熊沢溜池のエゾノミズタデ
岩木町	岩木山のウコンウツギ群落
岩木町	岩木山のミチノクコザクラの群落
岩木町	岩木山の岩壁植物群落
岩木町	岩木山高山植物群落
大鰐町	大鰐島田のコアツモリソウ
大鰐町	早瀬野のスギ-ヒバ天然林
大鰐町	東虹見山スギ-ブナ天然林
平賀町	広船のミズナラ林
平賀町	八甲田高山植物群落(ハイマツ)
平賀町	八甲田山のアオモリトドマツ林
平賀町	八甲田山のアオモリトドマツ-ブナ林
平賀町	八甲田山の高層湿原群落
平賀町	八甲田山の雪田群落
平賀町	南八甲田山地高山帯のヒノキアスナロ群落
中泊町(旧中里町)	袴腰岳の風衝地植物群落
西目屋村	尾太岳のコメツガ林
相馬村	沢田のニオイシダ
碓ヶ関村	西碓関スギ天然林

(出典：環境省 特定植物群落調査 第5回調査)

